

(1) 全身持久カトレーニングを主体とした運動療法を中止すべき状態はどれか。(49A43)

正解 4

1. 心拍数が100/分以上となる.

× : 安静時心拍が120/分以上の時はリハを実施しない.
心拍数が140/分を超えた場合は途中でリハ中止.

2. 収縮期血圧が150mmHg以上となる.

× : 200mmHg以上の時リハを実施しない.

3. 心拍数が安静時から20/分以上増加する.

× : 脈拍数が運動前の30%を超えた場合. ただし, 2分間の安静で10%以下に戻らないときは以後のリハを中止するか, または極めて軽労作のものに切り替える

4. 拡張期血圧が安静時から20mmHg以上増加する.

○

5. 収縮期血圧が安静時から30mmHg以上増加する.

× : 40mmHg以上増加した時リハを中止する.

(2) 65歳の男性. 脳梗塞. 右片麻痺. 発症5日目. 意識レベルはJCS <Japan coma scale> I - 1. 全身状態は安定し, 麻痺の進行も24時間以上認めないため, リスク管理 (リハビリテーション医療における安全管理・推進のためのガイドライン2006に基づく) を行いながら, ベッドアップを開始することとした.
適切なのはどれか.

正解 5

1. ベッドアップ前, 動悸を訴えているが実施する.
× : 積極的なリハは実施しない.
2. ベッドアップ前, 安静時SpO₂が85%であったので実施する.
× : 積極的なリハは実施しない.
3. ベッドアップ後, 脈拍が100回/分なので中止する.
× : 中止の必要なし. 120回/分を超えた場合, 一旦リハを中止し, 回復を待つ再開.
4. ベッドアップ後, 呼吸数が18回/分なので中止する.
× : 中止の必要なし. 頻呼吸, 息切れが出現した場合は途中でリハを中止する.
5. ベッドアップ後, 収縮期血圧が120mmHgから170mmHgに上昇したので中止する.
○ : 収縮期血圧が50mmHg増加しているため中止する.